

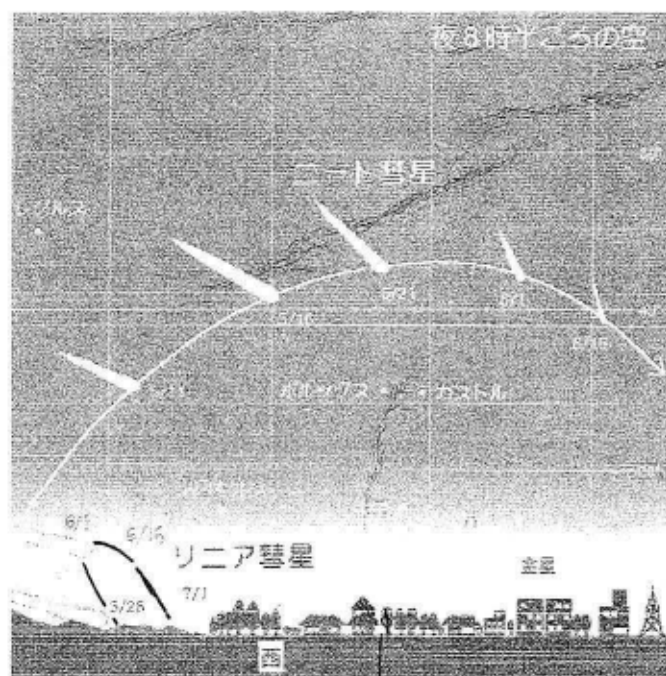
## 彗星(ほうき星)

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

ほうき星は、夜空に細長く雲のようにたなびいて見える天体で、百武彗星や、翌年3月に見えたヘール・ボップ彗星を覚えている人もいるかもしれません。

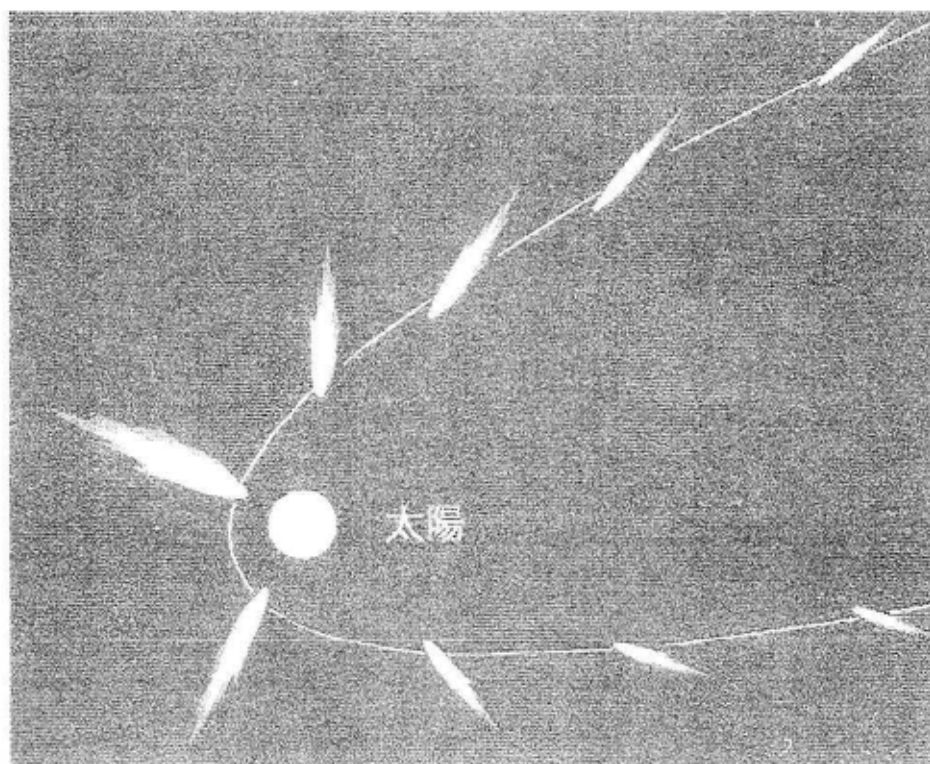
今年の5月の中頃から終わり頃にかけて、ニート彗星と言う名前のほうき星が夕方の西の空にいます。明るさは1〜2等星くらいで、肉眼ではぼうっと丸く光る部分と、上の方に短い尾をのばした雲のような姿が見られるかも知れません。

1〜2等星といっても普通の星よりもずっと暗く感じるので、まわりが明るい場所では、よく見えないと思われます。なるべく空が暗くて他の星もよく見える場所で観察したり、双眼鏡などで観察した方が良いでしょう。



ニート彗星とリニア彗星の見え方(午後8時30分頃の位置です)

では、ほうき星とはどんな天体でしょうか。  
実は、ほうき星の正体は、大きさは大きくても  
数10kmほどで、地球の1000分の1ほど  
しかないのです。惑星とくらべると大変小さく、  
ほとんどが氷で、少し岩石がまじっている星で  
す。



ほうき星は太陽に近づくと太陽と反対方向に長い尾をのぼす

ふだんは、太陽系のずっと外側の冷たい所に  
いますが、時々太陽の近くにやってきます。す  
ると、氷が蒸発して、まわりにうすく大きなガ  
スのかたまりを作ったり、太陽からの風によっ  
て反対方向に流されて尾を作ります。これが私た  
ちの目にほうき星として見えるのです。

(布村克志)

## 富山市科学文化センター

〒939-8084 富山市西中野町 1-8-31

2004年4月10日発行

